30-1	平成30年4月25日 審議							
申	i	青	者	呼吸器アレルギー科	呼吸器アレルギー科医師 大嶋 智子			
研	究部	果題	等	抗MDA5抗体陽性の皮膚筋炎に伴う間質性肺疾患に対するステロイド・タクロリムス併用療法の有効性 検証の前向き試験				
研	究争	<b>手 概</b>	要		にし、併せて	DM/CADM-ILDに対するプレドニゾロ 後不良因子をもつ抗MDA5抗体陽性DI f究を実施する。		
判			定	承 認 本申請は承認された。				
備			考	迅速審査				

30-2		平成	30年4月25日	1	審議		
申請	者	呼吸器アレルギー科	斗医師	大嶋 智	智子		
研究課題	<b>=</b>	抗アミノアルシンtRNA合成酵素抗体陽性の多発性筋炎/皮膚筋炎に伴う間質性肺疾患におけるステロイド単独療法 対ステロイド・タクロリムス併用療法の前向き比較試験					
研究等概			7有効性や安		療として現在用いられているプレドニン単独療法とプレドニ 比較・検証し、本疾患のよりよい治療方針を確立することを		
判	定	承 認	本申請は承認された。				
備	考	迅速審査					

30-3	-3 平成30年4月25日 審議								
申	請	者	臨床検査技師	由佳					
研究	冗課 題	等	当院(天竜病院)における肺MAC症と環境因子の検討						
研究	咒等 概	要	当院(天竜病院)における肝 菌腫の関係について検討	当院(天竜病院)における肺MAC症患者の土壌暴露と水利用(水道水及び水道水以外の水)と分離された 菌腫の関係について検討する後方的解析研究をを実施する。					
判		定	承 認	本申請は承認された。					
備		考	迅速審査						

30-4			平成	30年6月29日	審議				
申	請者	i	副院長		白井 正浩				
研 究	課題等	+	肺MAC症の治療開始6ヶ月後排菌陽性ならば、難治性と考えるべきか						
研究	等概要	<u> </u>	多剤併用療法が基本であ 比較検討し、6ヶ月後の排 析研究を実施する。	多剤併用療法が基本である肺MAC症の治療開始後6ヶ月において 痰培養を観察終了時の排菌結果と 比較検討し、6ヶ月後の排菌状況が陽性ならば、難治性であるか明らかにすることを目的として後方的解 析研究を実施する。					
判	定	Ē	承 認	本申請は承認された。					
備	考	Ť	迅速審査						

30-5	平成3	0年6月29日	審議			
申請者	副院長	白茅	井 正浩			
研究課題等	慢性肺アスペルギルス症における予後規定因子の検討					
研究等概要	慢性肺アスペルギルス症と診断された症例の予後規定因子について、患者背景や血液検査に加え、今まであまり評価されていなかった呼吸機能や画像所見も含めて解析し明らかにするための共同研究を実施する。					
判 定	承 認	本申請は承認された。				
備考	迅速審査					

30-6		平成:	30年6月29日	日審議				
申請	者	児童精神科医師	師	藤田 梓				
研究課	題 等	児童思春期病棟における隔離施行時間に影響する患者特性						
研究等	概要	児童思春期病棟における 究を実施する。	児童思春期病棟における隔離拘束施行時間の実態、および施行時間に影響する患者特性を探究する研究を実施する。					
判	定	承 認 本申請は承認された。						
備	考	迅速審査 申請者および研究期間変更による審議						

30-7			平成:	30年6月29日		審議		
申	請	者	児童精神科医師	師	藤田	梓		
研究	冗課 題	等	児童思春期病棟における行動制限最小化に関する研究					
研究	? 等 概	<del>【</del> 要	当院の児童思春期病棟に 離拘束化に有効性がある:	おいて、米国 かを検証する	で提唱 ことを目	されている隔離拘束最小化の6つのコア戦略を導入し、隔 目的とした研究を実施する。		
判		定	承 認	本申請は承認された。				
備		考	迅速審査					

30-8			平成3	30年7月25日 審議				
申	請	者	6病棟看護師	大石 萌子				
研 究	;課題	等	終末期看護における看護師のストレス軽減への取り組み~デスカンファレンスによる効果の検討~					
研究	,等概	要	実施し評価する。終末期看	護師のストレスに対する効果的な取り組みのひとつとして、デスカンファレンス 意護について看護師が感じているストレスの軽減やバーンアウトを予防するた レを見出すことを目的とする研究を実施する。				
判		定	承 認	本申請は承認された。				
備		考	迅速審査					

30-9				平成3	30年9月28日		審議		
申	請	者		栄養士 時見 涼					
研:	究 課	題 等		過去5年間の糖尿病教育の効果と考察					
研:	究等	概要		当院では糖尿病教育入院をクリティカルパスに沿って実施している。今回クリティカルパスの見直しが行われたことから、今後の課題を探るべく過去5年間の教育入院の効果にかかる教育入院加療患者についての後ろ向き調査を行い、今後の療養指導に活かすことを目的とする研究を実施する。					
判		定		承 認	本申請は承認された。				
備		考	-	迅速審査					

30-10		平成30	)年10月24日	審議		
申請	者	臨床検査技師	ī	藤坂 由佳		
研究課	題等	当院における高齢者結核の臨床的検討				
研究等	概要	から、患者の受診の遅れに	より周囲への 者背景や予後	症状が出にくく、初めて医療機関を受診することが少なくないこと D感染が拡大されるため早期診断や早期治療が重要である。結核 後、疾患、重症度、臨床検査、看護記録により患者の臨床的特徴 後方的研究を実施する。		
判	定	承 認	本申請は承認された。			
備	考	迅速審査				

30-11		平成30	0年10月24日 審議			
申	請者	副院長	白井 正浩			
研 究	課題等	肺MAC症の経過と体重変化について				
研究	等 概 要	肺MAC症はBMIが低値であれば予後不良であることが報告されているが、肺MAC症の経過における体重変化についてほとんど報告されていない。当院において2年以上経過観察し得た肺MAC症の体重変化について、排菌状況およびその他の背景因子と比較することを目的とした後方観察研究を実施する。				
判	定	承 認	本申請は承認された。			
備	考	迅速審査				

30-12	平成30	0年11月28日	審議			
申請者	神経内科医長	£	兼田 皇			
研究課題等	・ Creutzfeldt−Jakob病12症例の臨床的検討					
研究等概要	当院で入院したCreutzfeld の実施の有無による経過の 向き研究を実施する。	t-Jakob病12症 の調査を行い学	例の臨床経過から各種事象の時期を集計し、中心静脈栄養法 全会発表するとともに、今後の診療に活かすことを目的とした後ろ			
判 定	承 認	本申請は承認された。				
備考	迅速審査					

30-13			平成:	31年2月12日	審議
申	請	者	呼吸器・アレルギー	科医師	伊藤 靖弘
研究	法課題	等	非小細胞肺がんに対する抗PD-L1抗体薬アテゾリズマブの前向き観察研究		
研究	, 等 概	要	非小細胞肺がん患者を対象に、抗PD-L1抗体薬アテゾリズマブの安全性および有効性を評価することを目的とした他施設共同前向き観察研究を実施する。		
判		定	承 認		本申請は承認された。
備		考	特になし		

30-14	平成30	0年12月26日 審議		
申請者	3病棟看護師	<b>廣野</b> 双葉		
研究課題等	フレッシュパートナー制度導入による問題点・改善点			
研究等概要	2018年度からフレッシュパ か評価できていない状況で	天竜病院3病棟ではパートナーナーシングシステムが導入されており有意義に機能している。今年度の2018年度からフレッシュパートナー制度が導入されたことから、現状において有意義に機能しているかどうか評価できていない状況である。問題点があれば明確にして改善するための効果的な活用方法を考え、より質の高い看護の提供に繋げていくことを目的とした研究を実施する。		
判 定	承 認	本申請は承認された。		
備考	迅速審査			

30-15		平成30年12月26日 審議				
申	請者	副院長	白井 正浩			
研 究	課題等	多剤耐性結核症の登録に伴う研究				
研究	等概要	多剤耐性結核は結核症の減少とともに減少していると推測されているが専門家も減少しており、情報共有による専門家の育成が必要である。多剤耐性結核の治療成績は改善の余地があり情報収集に意味があるため、多剤耐性結核菌の登録制度を行うことを目的とした共同施設研究の観察研究を実施する。				
判	定	承 認	本申請は承認された。			
備	考	迅速審査				

30-16		平成30年12月26日 審議				
申	請	者	副院長		白井 正浩	
研究	?課題	等	結核治療に伴う薬疹の実態調査			
研究	? 等 概	<del>【</del> 要	皮疹に対する指針の基礎情報を得るため、研究に参加する各医療機関の結核治療開始患者のうち皮疹を発症した患者情報を用いて背景・皮疹の状況・推定薬剤・最終結核治療等を検討することを目的とした 他施設共同の観察研究を実施する。			
判		定	承 認		本申請は承認された。	
備		考	迅速審査			

30-17	平成30	年12月26日	審議
申請者	2病棟看護師	山﨑	あかり
研究課題等	重症心身障害児(者)で働く看護師の意識調査 〜入院患者の看護に対する看護師と家族の認識の比較〜		
研究等概要	皮疹に対する指針の基礎情報を得るため、研究に参加する各医療機関の結核治療開始患者のうち皮疹 を発症した患者情報を用いて背景・皮疹の状況・推定薬剤・最終結核治療等を検討することを目的とした 他施設共同の観察研究を実施する。		
判 定	承 認		本申請は承認された。
備考	迅速審査		

30-18		平成等	31年1月30日	審	議
申請	者	4病棟看護師	E	日添 瑠ラ	
研究課	! 題 等	神経難病患者の呼吸ケア定期的評価への取り組み			
研究等	・概 要	患者一人一人の状態にあわせた呼吸ケア方法を取り入れていくことが必要と考え、定期的に呼吸状態や 排痰方法を評価することにより、効果的な排痰を促し呼吸器合併症の予防につなげることを目的とした研 究を実施する。			
判	定	承 認			本申請は承認された。
備	考	迅速審査			

30-19			平成31年1月30日 審議				
申	請	者	4病棟看護師	İ	矢部 舞花		
研究	乙課 題	等	神経難病患者への森林浴がもたらす効果の検証				
研究	乙等 概	要	神経難病患者に自然療法である森林浴を実施し、生理学的指標と森林浴後のインタビューを行い身体的 効果および心理的効果を検証することを目的とする研究を実施する。				
判		定	承 認		本申請は承認された。		
備		考	迅速審査				

30-20	平成3	1年2月27日	審議	
申請者	5病棟看護師	釺	木 智砂	
研究課題等	児童・思春期精神科病棟における行動制限中の看護介入の現状と評価			
研究等概要	現状当院で行っている神経発達障害患者の行動制限中の看護介入の現状について検討し、今後の治療において行動制限最小化に繋がる看護介入を目的にする。			
判 定	承 認 本申請は承認された。			
備考	迅速審査 申請者の変更による審議			

30-21	平成:	<b>戊31年3月12日</b> 審議		
申請者	呼吸器・アレルギー	一科医師 伊藤 靖弘		
研究課題等	Cell free DNA を用いたEGFR遺伝子変異アレル頻度の検討			
研究等概要		EGFR遺伝子L858R変異陽性の非小細胞肺がんにおいて、アファチニブ投与前後の抹消血中Cell free DNAを用いてEGFR遺伝子変異のアレル頻度を経時的に測定する観察試験研究を他施設と共同で実施す る。		
判定	承 認	本申請は承認された。		
備考	特になし			

30-22		平成3	31年3月27日	審議		
申請	者	呼吸器・アレルギー	科医師	伊藤 靖弘		
研究課	題 等	非小細胞肺がんに対する抗PD-L1抗体薬アテゾリズマブの前向き観察研究				
研究等	概 要	肺MAC症はBMIが低値であれば予後不良であることが報告されているが、肺MAC症の経過における体重変化についてほとんど報告されていない。当院において2年以上経過観察し得た肺MAC症の体重変化について、排菌状況およびその他の背景因子と比較することを目的とした後方観察研究を実施する。				
判	定	承 認		本申請は承認された。		
備	考	迅速審査 期間延長による	・ 延長による審議			

30-23			平成31年3月27日 審議				
申	請	者	副院長		白井 正浩		
研究	?課題	等	ショットガンプロテオーム解析による呼吸器疾患の新規バイオマーカ探索				
研究	7、等 概	. 1344	質量分析機を用いたショットガンプロテオーム解析により、喀痰や気管支洗浄液中のタンパク質の網羅的解析を行い、抽出されたタンパク質と臨床検査値や疾患重症度、予後との関連性を調査することにより呼吸器疾患の新規バスオマーカーを創造することを目的とした研究を行う。				
判		定	承 認		本申請は承認された。		
備		考	迅速審査				

30-24			平成3	31年3月27日	審議	
申	請	者	白井 正浩		白井 正浩	
研 究	;課題	等	限局期小細胞肺癌症例における予防的全脳照射の有効性についての前向き観察観察			
研究	;等 概	要	2013年、静岡県内4の病院連携で行った限局期小細胞肺癌124例を後ろ向きに集積/解析しPCI施工時と非施工時の間で脳転移出現率/生存期間がほぼ同等であるという共同研究結果を確認するため、限局期小細胞肺癌患者症例におけるPETの有効性についての前向き観察研究を静岡県内14病院で連携した共同研究行う。			
判		定	承 認	本申請は承認された。		
備		考	迅速審査 期間延長による	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		